

# Makiko Takeda-Herms & Young Friends



Makiko Takeda-Herms

武田 牧子・ヘルムス Piano

大阪市出身、相愛学園子供音楽教室を経て、桐朋学園高等音楽科を卒業後ドイツ留学。フランクフルト国立音楽大学、ハノーファー国立音楽大学を卒業後、ザルツブルクのモーツァルテウムに在籍。1976年イタリア・テルニの国際ピアノコンクール「アレクサンドロ・カサグランデ」で一位入賞。これまでに、ブランカ・ムスリン女史、ハンス・ライグラフ氏、ブルーノ・レオナルド・ゲルバー氏、アリシア・デ・ラローチャ女史に師事。

ドイツ在住50年、元マインツ国立大学音楽部ピアノ科教授。

1994年-2013年ヴィスバーデンにて、「アミチ・デラルテ」（芸術の友）主宰。この会において国際的に活躍する演奏家や俳優と、約70回に亘って共演。

ここ30年来、春秋2回日本に帰国し、リサイタルや後進の指導にあたっている。在独年数が日本在住よりはるかに長くなってしまったが、日本の音楽界のために、いつも何らかの形で貢献したいというのが武田牧子・ヘルムスの願いである。

この北九州 西日本工業倶楽部での演奏会も、1996年より今まで22回を重ねてきたが、その中でソロのプログラムだけでなく「Makiko Takeda-Herms & Friends」という形で、ドイツから器楽奏者や声楽家を招聘して音楽会を催してきた。

2017年より「Makiko Takeda-Herms & Young Friends」と題して、日本で活躍する演奏者との共演を企画。北九州在住のヴァイオリニスト島田久三江さん、イタリア在住10年の経歴があるヴィオラ奏者奥村英樹氏に続いて、今年は、九州交響楽団の首席チェリストとして在籍した北口大輔氏を招いての演奏会となる。

北口大輔 Cello



Daisuke Kitaguchi

12歳より父親の手ほどきによりチェロをはじめ、17歳で関西フィルとサンサーンスの協奏曲でデビュー。東京藝術大学音楽学部、同大学院修士課程修了。チェロを林俊昭、河野文昭の各氏に師事し、またウェン・シン＝ヤン、フィリップ・ミュレル、ミーシャ・マイスキー各氏のマスタークラスにて研鑽を積む。

在学中より数多くのコンクールに優勝、人賞し、アゼリア推薦音楽新人賞、大阪府舞台芸術新人賞などを受賞。NHK-FM「ベストオブクラシック」「名曲リサイタル」「現代の音楽」「プラボークラシック」へのソロ出演の他、イギリス湖水地方、ドレスデン、ケルン、グラーツ、アフィニス夏の音楽祭、別府アルゲリッチ音楽祭、北九州国際音楽祭の各音楽祭に参加。

ソリストとしてオーケストラとの協演も多く、ドヴォルザーク、ハイドン、チャイコフスキー、サンサーンス、シューマン、グールド等の協奏曲を数多く演奏し、またバッハの無伴奏チェロ組曲全曲、ベートーベンのチェロソナタ全曲演奏会など多彩なプログラムでのリサイタルに取り組み、幅広いレパートリーを獲得している。

その演奏に対しては音楽専門誌からも高い評価を得ており、「全く危なげないソリストぶり、余裕の力演」「新鮮にして風格のある演奏」「安定した好演、聴き応え充分」(『音楽の友』誌)、「実力派、頼もしい存在感を披露」(『モーストリー・クラシック』誌)、「彼が入る事によりチェロセクションの音が格段に引き締まる」(朝日新聞)、「端正で甘美なオペラのソロ！」(日経新聞)など、その力量を賞賛されている。

2017年に誕生したザ・シンフォニーホールのレジデント弦楽五重奏団 The Symphony Hall String Quintet のメンバー。また、大阪音楽大学講師、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」弦楽合奏科特別講師としての後進の指導や、全日本学生音楽コンクールなど様々なコンクールの審査にもあたっている。

2019 4.24 Wed

13:30 開場 14:00 開演

会員 無料 (会員紹介含む) ご招待券をご用意しております。

一般 ¥3,000 I drink 付き



共催 北九州日独協会 九州フィンランド協会

## Program

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト  
ピアノソナタ 変ロ長調 KV281  
アレグロ  
アンダンテ アモローゾ  
ロンド アレグロ

ガブリエル・フォーレ  
エレジー Op.24  
シシリエンヌ Op.78  
(チェロ独奏、ピアノ伴奏)

クロード・ドビュッシー  
ピアノのために  
プレリュード  
サラバンド  
トッカータ

休憩

デミトリ・ショスタコーヴィチ  
チェロとピアノのためのソナタ Op.40  
アレグロ ノントロッポ  
アレグロ  
ラルゴ  
アレグロ